

道徳指導法 3

—道徳教育は必要ですか?—

<https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説

特別の教科 道徳編

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf

道徳教育(道徳科)の必要性

-道徳性の発達という視点から-



『子どもの社会的な心の発達』 林 創 金子書房

1960年のアメリカ合衆国のロマンティック・コメディ映画



シェルドレイク部長



フレッド・マクマレイ

バド (バクスター)



ジャック・レモン

フラン



シャーリー・マクレーン



場の空気に応じて
行動をコントロールする

実行機能

心の理論



バドは知って
しまったんだ

メタ認知

- 自分の浅ましさ
- 断れない気の弱さ
- 軽薄な思考

バド (バクスター)



つきあって
いるんだ!?!
(表情)

フランに
確認したい!

シェルドレイク部長



フラン

(視聴者:小山) 心の状態を想定して、他者(バド) の行動を理解する

社会的な心の発達を支える3つのこと

児童期までに大きな発達

心の理論

他者の行動を心の状態を想定して理解すること

実行機能

目標（例えば場の空気に合わせる）に応じて注意や行動をコントロールする能力

メタ認知

自分の認知の傾向を知る

人間特有の様々な能力や行動を生み出す

これらを知ることによって子どもの教育の可能性が見えてくる

道徳性のめばえ

心の理論の発達

『他者の心の理解のめばえ』

○ありえないやこ・新しいもの → 注視
(二項関係)

養育者と自分と対象の関係



○共同注意 (三項関係) → 生後9ヶ月
自分と他者の認識が同じか違うかに気づく

- ・ 社会性やコミュニケーションの発達にとって決定的に重要
- ・ 共同注意の有無によることばの学習 (共同注意を伴う反応の繰り返し)

心の理論の発達

『他者の心の理解のめばえ』

共同注意の有無によることばの学習

13ヶ月

①



トゥーマ

②

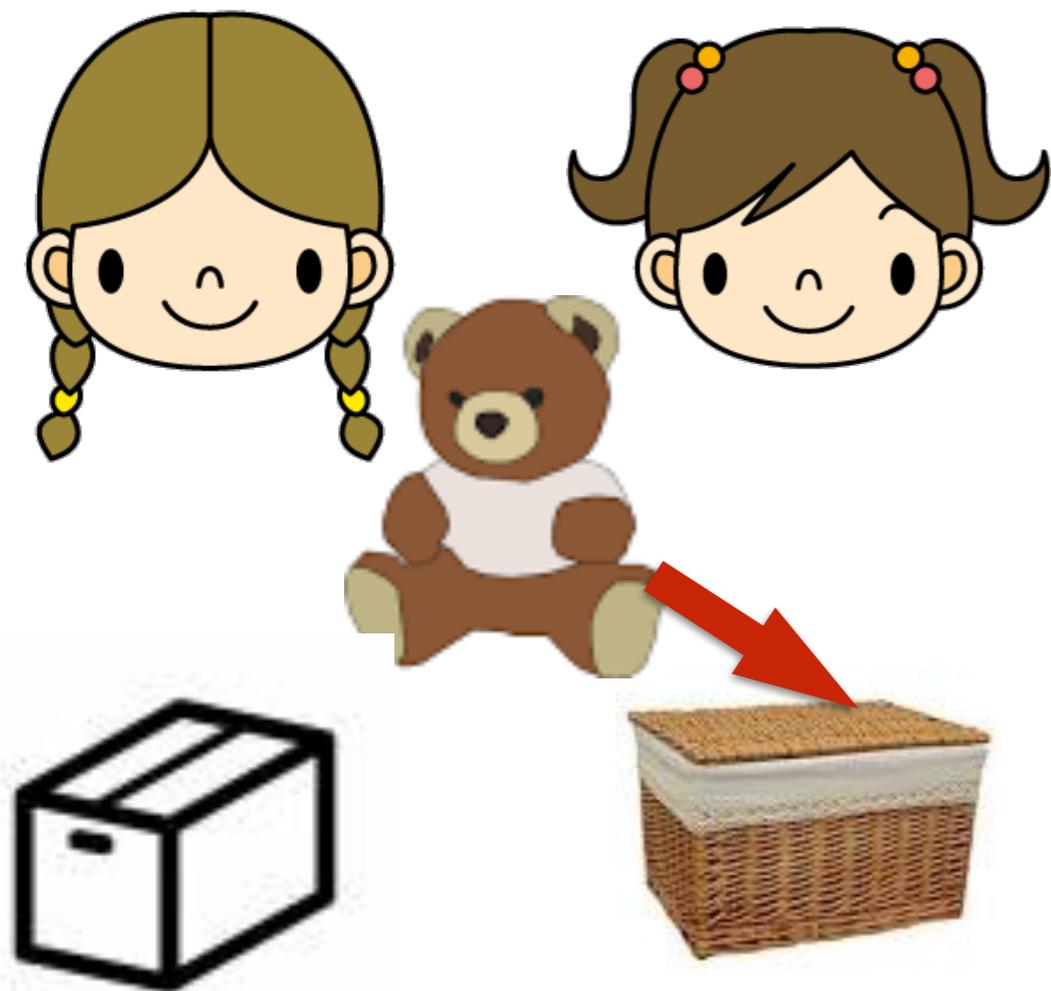


トゥーマ

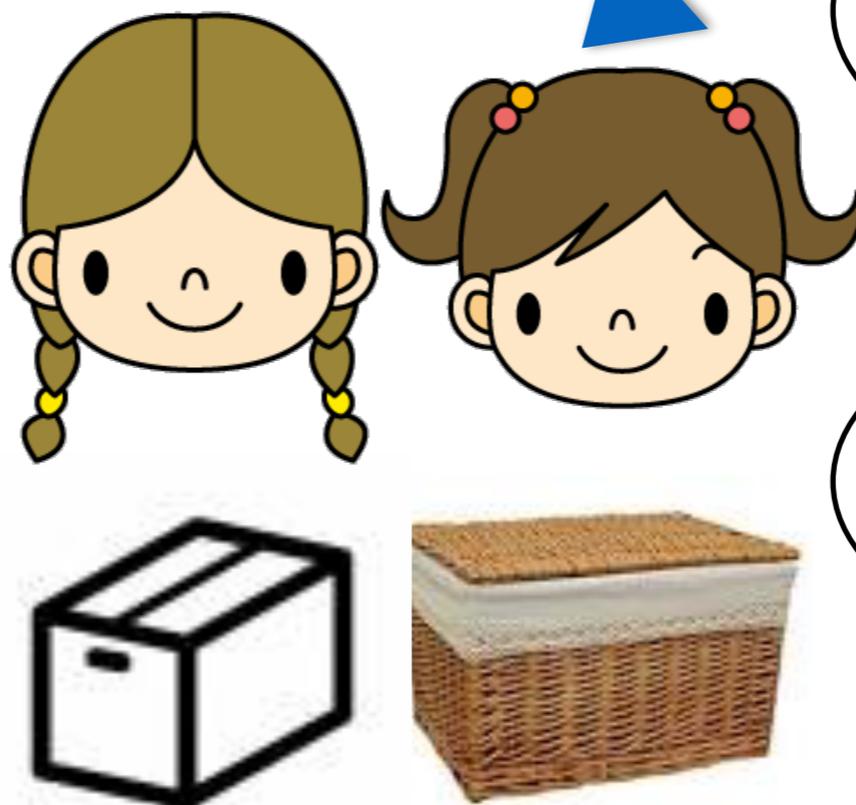
共同注意のない条件の状況が街中で見かける
スマートフォンに夢中になっている養育者
(発達阻害)

まり

ちか



まりちゃんは、おもちゃが
どこにあるとおもっている
かな? ①



間違ってしまいそうな人に
『箱にあるよ』って教えて
あげて! ②

「心の発達」を調べる!

① 「誤信念課題」 4~5歳

② 「助っ人課題」 3歳

心の理論の発達

4～5歳児

誤信念課題

女の子はおもちゃがどこにあると思っているかな？



3歳児

助っ人問題

間違ってしまいそうな人を選んで、『箱にあるよ』っておしえてあげよう

誤信念を抱いている人を選ぶ

- 相手の知らない情報を伝える
- 自分の知識を伝達することによって他者を助けるという社会的な状況が与えられていると、3歳児でも「知識がなければ間違ってしまう人」を選ぶことができる。

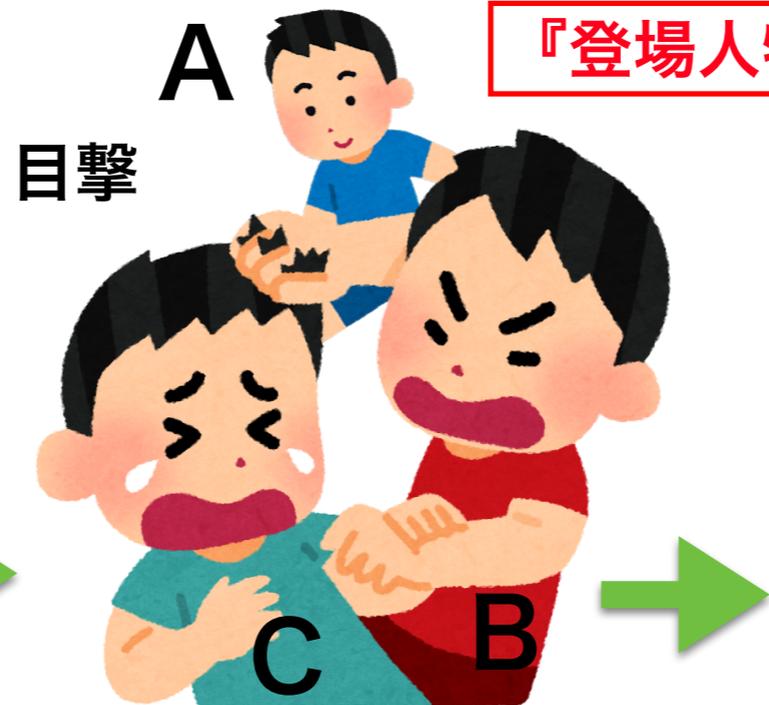
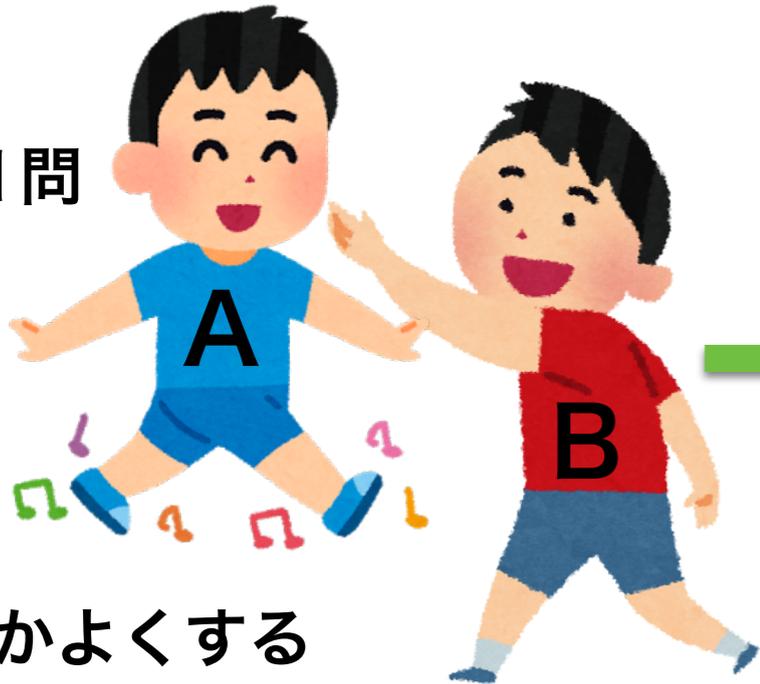
目に見えない他者の心の存在にはっきりと気づき始める

『**幼児期**』

『登場人物の社会的なかかわり』の実験

なかよくする

第1問



AはBが悪い子だと知ってしまい、そう思っている。

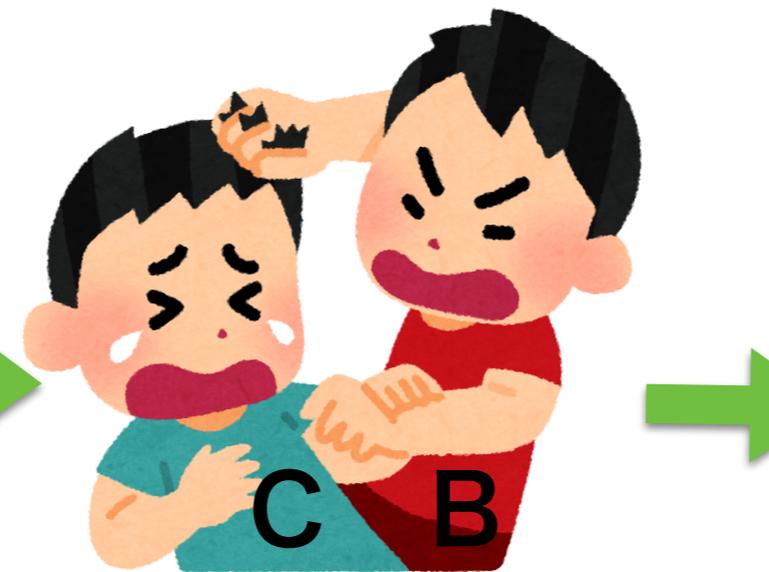
① なかよくする



なかよくしているのは、変だなあ

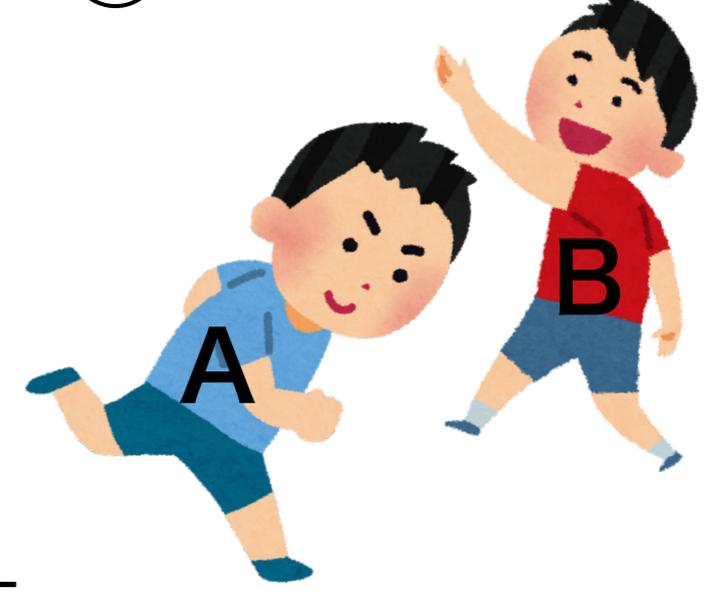
なかよくする

第2問



AはBが悪い子だと思っていない。

② 何もしない(無視)



今まで通り
なかよくしないのは、変だなあ

13ヶ月児



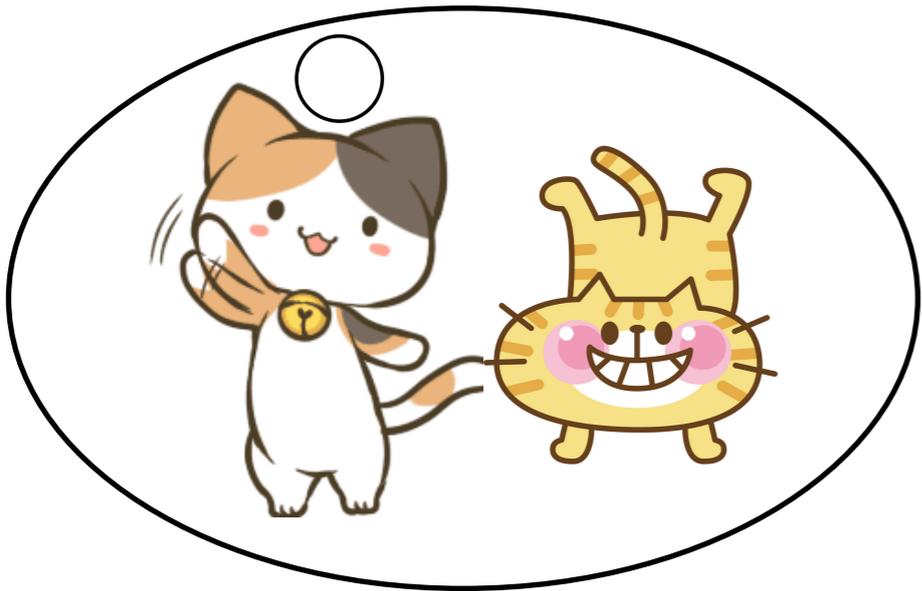
※実験はぬいぐるみでされました。

※変だな、不思議だなと感じたことをじっと見る(注視)。

『道徳的感受性』の実験

※実験はぬいぐるみでされました。

5ヶ月の赤ちゃん



援助(ポジティブ行動)



妨害(ネガティブ行動)



人は生後1年以内に、他者の第三者に対する好社会的/反社会的行為に対して評価ができる

○道徳性の発達という視点から子どもの行動を考える

○発達心理学

- ・ 生後1歳半頃、「援助」「同情」「公平」の萌芽が見られる。
- ・ **直感的に判断し**、「他者を助けたい」「他者に教えたい」と強く動機付けられている
- ・ 生まれながらにして、苦境にある他者に対して原初的な同情的態度をとる可能性

「心の発達」と「道徳的判断」

○道徳性の育成は必要か

- 人間は道徳的な感受性、およびそのような処理をするメカニズムを生得的にもって生まれる。しかし、その後、何もない状態では、そのメカニズムは適切に発達しない。生後に受ける教育や文化の影響によって、さらに道徳的感受性、道徳性が開花していく。

○裁判、裁判員制度は、時間をかけて理性的な判断をすることが求められる。

- 人間は直感だけでなく、その後、理性的に考え、行動をコントロール(実行機能)できる。
- 理性的に考えることの大切さを指導することができる。
- 「道徳性(判断力)」は学習されるものである。

○これまでの道徳教育の成果と課題

文部科学大臣

諮問



答申

p.2

中央教育審議会

平成27年3月 『特別の教科 道徳』

「考え、議論する道徳」

(=主体的対話的で深い学びへの転換)

これまでの道徳の授業の課題

充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、

① 歴史的経緯に影響され、いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること、

② 他教科等に比べて軽んじられていること、

③ 読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど、多くの課題が指摘されている。道徳教育は、生徒の人格の基盤となる道徳性を養う重要な役割があることに鑑みれば、これらの実態も真摯に受け止めつつ、その改善・充実に取り組んでいく必要がある。 (p.2)

道徳科の授業のあり方

今回道徳教育の改善に関する議論の発端となった学校の状況、社会問題!!

(p.2,p.3)

道徳教育の変遷4 -平成29年告示学習指導要領-

「考え議論する道徳」(主体的対話的で深い学び)

① 「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」へ(教科化)

p.3

- いじめの問題への対応

② 道徳教育と道徳科のかかわりと目標

p.8

p.13

- 補充・深化・統合

③ 育みたい道徳性 p.17

- 道徳的判断力,道徳的心情,道徳的実践意欲と態度

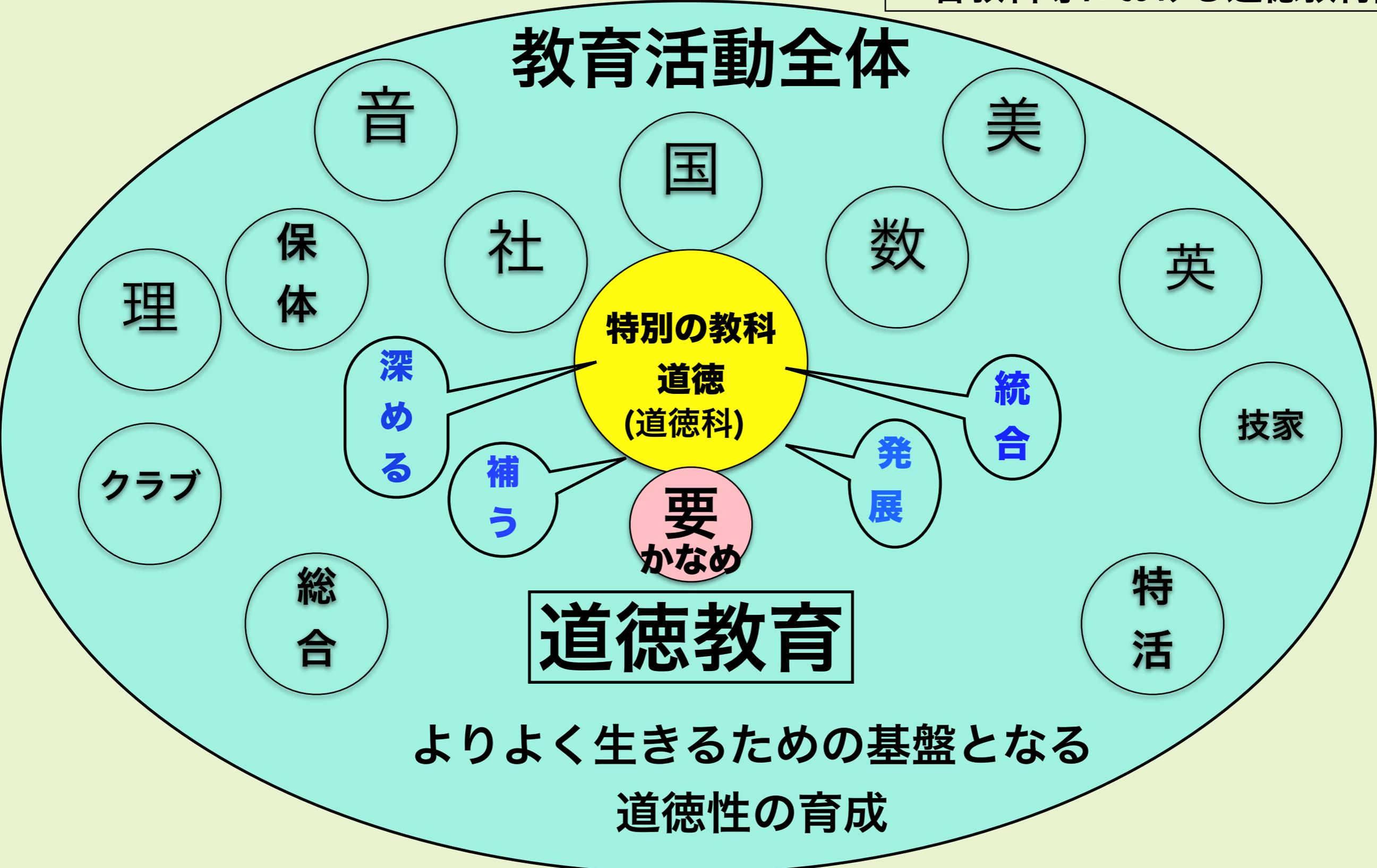
p.15

④ 「特別の教科 道徳 (道徳科)」の授業のあり方

- 自分ごと(自己を見つめる),多面的・多角的,人間としての生き方

「道徳教育」と「特別の教科 道徳(道徳科)」とのかかわり

学習指導要領解説 P.9(P.11)
「各教科等における道徳教育」





道徳教育の「要(かなめ)」

道徳科

「特別の教科 道徳」

「補充」 「深化」 「統合」



- ・ 何が問題か、何を考えてほしいのかを見つける。
- ・ 他者と関わる中で思い・考えを交流する。
- ・ それぞれの意見の中にある判断基準を問い返す。

道徳的な視点からの見つめ直す。

道徳科の授業

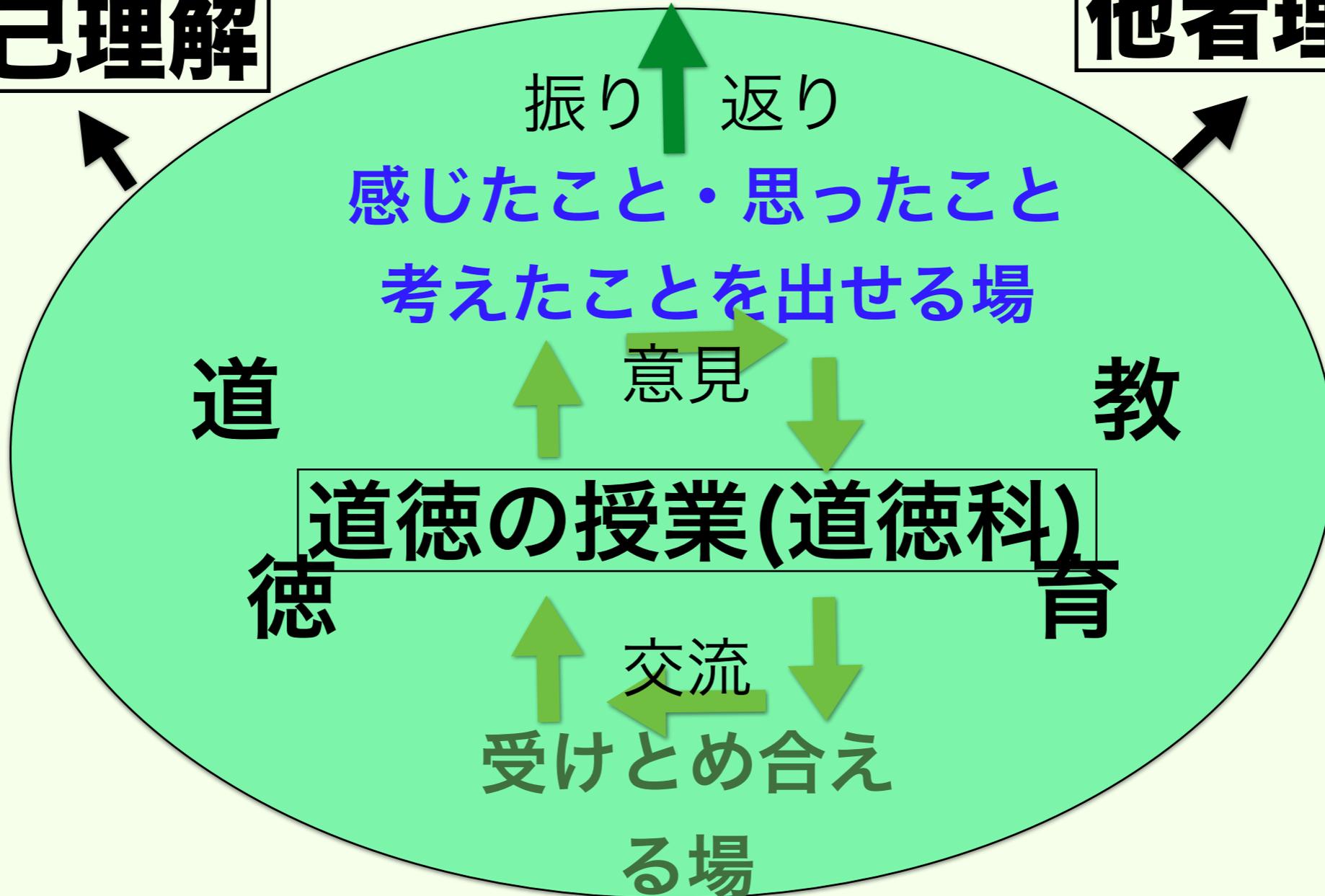
道徳の授業の役割

自己理解

他者理解

道徳的価値を

教えようとはしない。



「自分のものの見方・感じ方・考え方」
を広げ、深める場の提供

○下記のメールアドレスまで

koyamahi41@gmail.com

○本文には

- 「学生番号・名前」
- 「**授業の感想文100文字程度**」 (紙面で意見交流)

○必ず件名には

「実施時間・科目名」を記入

(例) 1時間目 道徳指導法

2時間目 道徳指導法

○締め切りは、原則、授業日の24時まで